

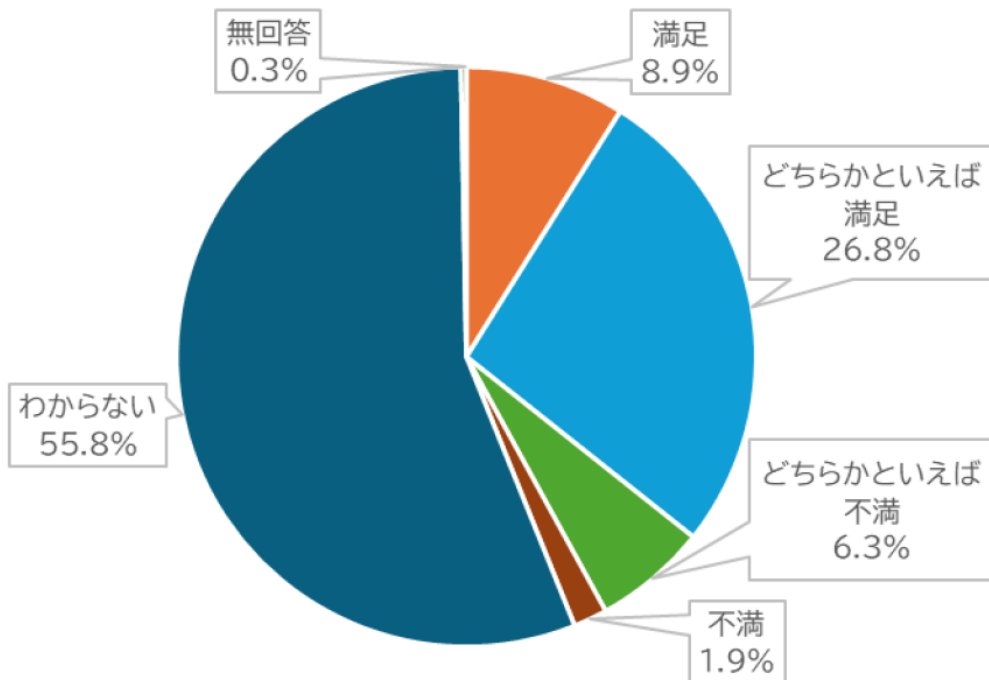
施策 1－1 子育て支援（分析）

子ども未来部・健康福祉部・教育部



R6 市民意識調査 考察 ①

Q3『子どもたちの健全育成』施策について



(1) 経年の満足度の推移 ※1



R4
0.75

R5
1.04

R6
1.86

・ 満足度は年々、増加の傾向！

➡高校生まで医療費完全無償化、各年度の子育て給付金給食費の無償化などの施策による効果か イイネ！

(2) 男女別の満足度クロス

《満足を感じている》【男性】3割台半ば < 【女性】が4割

➡当事者意識の差と思われるが、男性の意識も改善されているのではないかと予想（R5はクロス集計なし）

※1（「満足」の回答数×10点+「どちらかといえば満足」の回答数×5点+「どちらかといえば不満」の回答数×-5点+「不満」の回答数×-10点）÷回答者の母数（1,009人）

R6 市民意識調査 考察 ②

(3) 年齢別満足度クロス



・どの属性においても「わからない」が最も多い傾向。次いで「どちらかといえば満足」

・10代が最も高く、次いで30代、40代が高い
➡ 20代、50代は相対的に満足度低いが、60代以降は再び上昇

・経済的な課題や晩婚化などに伴い、20代は当事者意識がまだ希薄で、関心も薄い
・50代は子育てもある程度落ち着き、再び関心が薄くなる。60代以降は孫により、また上昇？

			回答者数	満足	どちらかとい えば満足	どちらかとい えば不満	不満	わからない	無回答
全 体		件数	1,009						
		%	(100.0)						
年 齢	10代	件数	11	2	4	0	0	5	0
		%	(100.0)	(18.2)	(36.4)	(0.0)	(0.0)	(45.5)	(0.0)
	20代	件数	88	11	16	2	3	56	0
		%	(100.0)	(12.5)	(18.2)	(2.3)	(3.4)	(63.6)	(0.0)
	30代	件数	156	9	58	13	7	69	0
		%	(100.0)	(5.8)	(37.2)	(8.3)	(4.5)	(44.2)	(0.0)
	40代	件数	175	24	55	13	4	79	0
		%	(100.0)	(13.7)	(31.4)	(7.4)	(2.3)	(45.1)	(0.0)
	50代	件数	196	23	39	11	8	115	0
		%	(100.0)	(11.7)	(19.9)	(5.6)	(4.1)	(58.7)	(0.0)
	60代	件数	193	16	49	10	3	114	1
		%	(100.0)	(8.3)	(25.4)	(5.2)	(1.6)	(59.1)	(0.5)
	70代以上	件数	180	16	59	9	1	93	2
		%	(100.0)	(8.9)	(32.8)	(5.0)	(0.6)	(51.7)	(1.1)
	無回答	件数	10	0	5	1	0	3	1
		%	(100.0)	(0.0)	(50.0)	(10.0)	(0.0)	(30.0)	(10.0)

➡ 子育て当事者世代(30代、40代)の満足度が高いことは、これまでの施策展開として純粋に評価可能

➡ **満足度の大小は、「興味関心があるか」に大きく左右される！** のではないか

R6 市民意識調査 考察 ③

(4) 地域別クロス

・桜が丘地区の満足値が最も多く、R5に比しても大きく上昇

➡ 能動的(関心事について、自ら情報を取りに行く)な子育て世代が多く居住

・不満足度は奈良橋・湖畔・高木が最も高い

➡ 子育て関連の施設が少ないことが要因か

・高齢化率が高い清原・新堀では満足度低いが、不満足もそれほど多くない。表にはないが、清原・新堀の「わからない」は、最多(63%)

➡ 高齢化率と関心の相関関係



地区	重要施策1 満足値平均 (満足+どちらかといえば満足)	重要施策1 不満足値平均 (不満+どちらかといえば不満)
芋窪・蔵敷	40.6	8.8
奈良橋・湖畔・高木	40.5	11.0
狭山・多摩湖・清水	43.3	7.2
上北台・立野	36.5	8.8
中央・南街	41.1	7.2
仲原・向原	34.5	7.4
清原・新堀	34.8	6.2
桜が丘	45.7	10.1

施策の方向は、地域性よりも、当事者世代の「関心事」へのアプローチを重視すべきか。

R6 市民意識調査 考察 ④

(5) 自由意見

- ・ 子育て支援の充実を評価している意見が多い一方で、一時保育室(かるがも)の廃止に関する不満が散見
- ・ 単身者や高齢者、DINKsからは、「子育て施策ばかりで、他が置き去り」との批判も
- ・ 学童保育所の整備に関する要望も多い

➡ 当事者世代と思われる市民が何に着目しているか？

今後の施策展開の方向性

- ・ 20代、30代、40代が、適切に子育て情報にたどり着けるような仕組みづくり
➡ **子育てアプリの情報・機能充実、メディアコンテンツの魅力向上(リニューアル市報の活用など)**
- ・ 一時保育室廃止に対する不満
➡ **大和南 子育て支援センターぽけっと「子育てひろば事業」の拡充**
- ・ 現行の無償化事業等の維持に向けた取り組み
➡ **国や東京都へのアプローチを続け、補助金を最大限に活用**
- ・ 学童保育所の整備
➡ **公共施設再配置において、校内学童を設置**

